



2024年7月4日

各位

会社名 太平洋セメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 田浦 良文
(コード番号 5233 東証プライム、福証)
問合せ先 総務部長 高野 謙一
(TEL 03-5801-0334)

個別決算における関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第1四半期(2024年4月1日~2024年6月30日)の個別決算において、当社が保有する関係会社株式のうち、インドネシア共和国のPT Solusi Bangun Indonesia Tbk(以下SBI社といいます)株式につきまして、時価が著しく下落したことから、減損処理による関係会社株式評価損(特別損失)を計上する必要が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第1四半期における関係会社株式評価損

2025年3月期第1四半期累計期間 (2024年4月1日~2024年6月30日)の 関係会社株式評価損の総額	9,179百万円
--	----------

- ・当社は四半期末における関係会社株式の減損処理にあたり、洗替え方式を採用しています。
- ・2025年3月末までにSBI社の株価が回復した場合には戻入れを行います。
- ・当社の決算期末は3月31日です。

2. 業績・業務に与える影響について

本関係会社株式評価損は連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありませんが、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」の規定に基づき、のれんの一括償却による持分法投資損失(営業外損失)を計上いたします。2025年3月期第1四半期連結累計期間において、のれんの一括償却による経常利益への影響額は19億円を見込んでおります。なお、2025年3月末までにSBI社の株価が回復した場合には戻入れを行います。

2025年3月期通期の業績予想につきましては、今後、その他の要因も含めて検証し、修正が必要と判断される場合には速やかに開示いたします。

SBI社は、セメント需要の旺盛な成長が予想されるインドネシア国内において、広域な販売網と強固な事業基盤により高い収益性を有しております。当社グループでは2024年5月に策定した「26中期経営計画」におけるグローバル戦略の基本方針として「既存事業の収益基盤強化」、「トレーディング事業の拡大」等をおこなっております。

SBI社のトゥバン工場において現在建設中の棧橋が完成後の2025年より、同工場から当社米国子会社への年間50万トン以上のセメント輸出を行う見込みです。サプライチェーン強化による米国事業の深化とトレーディング事業の更なる発展に、SBI社は極めて重要な役割を担っております。当該損失計上後も、当社グループのSBI社を含めた海外事業戦略に変更はありません。今後、SBI社とのシナジーを一層追求し、26中期経営計画の実行を推進させるとともに、インドネシア経済の発展にも寄与してまいります。

以上